

木曾ペインティングス Vol. 6 「僕らの美術室」

取組に至る背景・事業の目的

御嶽山の噴火や大雨による土石流など、度重なる自然災害に見舞われてきた玉滝村は観光客の減少、少子高齢化、人口流出が課題となっている。また、木曾町や木祖村でも同様の問題を抱え、空き店舗や空き家が目立っている。日本一美術館の多い長野県の中で美術館を持たない木曾地域だが、独特な文化や暮らしを育み伝承してきた歴史がある。この地の歴史・文化を芸術の視点を持ってアーティストと地域住民が共同で創り上げ可視化する。



【オープニングレセプション】

事業内容

木曾地域に、芸術家の視点を介入させて芸術祭やイベントを住民と共同で開催した。主に子ども達が地域資源の活用や気候変動について興味、関心を持てるような課外授業を多数実施した。今では訪れる者が少なくなった資料館なども活用し、地域にアーティストや来場者を大勢呼び込み賑わいの場を作った。地域への愛着と誇りを深められるよう、木曾がロケ地となった映画観賞会を開催した。そして展示鑑賞会や映画上映後のトークを通じて、作品に込められたメッセージを自分なりに読み解く楽しみを伝えられた。

- ・美術室開設 10/1-11/7 の間 巴庵（宮ノ越）／課外授業（ワークショップ） 5/14-11/4 の間に 18 回実施 巴庵など 8 会場 参加者 333 名
- ・オープニングイベント【共催：義仲館】 10/23 巴庵・義仲館・宮ノ越公民館（出店 5 店/公演・参加者 53 名/観客 150 名）
- ・芸術祭「僕らの美術室」 10/23-11/7 の間 3 町村 14 会場で開催（参加者合計 38 名/内訳：アーティスト 32 名・高校生 6 名）（鑑賞者 1,416 名）
- ・アーティストインレジデンス 藤屋 5/14-11/12 の間（58 名/123 泊）常八 6/2-11/6 の間（8 名/45 泊）
- ・「リング・ワンダリング」上映会とトーク開催【共催：木曾文化公園】 11/3 木曾文化公園ホール（入場料 500 円/鑑賞者数 160 名）

事業効果

- ① 東京で鑑賞するものに劣らないクオリティで、且つ地域に根差した展覧会を木曾で開催し、他地域から大勢の来場者が訪れ賑わいを見せた。
- ② アーティストが専門技術を活かしたワークショップを住民や子ども達に向けて 18 回実施した。木曾の 200 年後を想像するディスカッションに熱が入り、ドイツ人アーティストとの言葉の壁は子ども達にとって興味の対象となり、熱心にコミュニケーションを取る様子が見られた。
- ③ 芸術祭で空き家を開放し、移住促進のみではなく空き家をアトリエや倉庫に活用しながら都会と木曾の 2 拠点生活等の提案を行った。木曾ペインティングスがきっかけで令和 4 年 4 月に木曾へ移住した方は現在木柁制作の仕事に励んでいる。これまで「売り物件」だった空き家は令和 4 年の年末に売却が決まった。
- ④ アーティストの視点から木曾を見聞きすることで、住民にも新たな発見があった。さらに、鑑賞会やトークイベントといった詳しく話を聞く機会を作る事で、より発見・再発見、更に知ろうとする好奇心を引き出せた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

令和 5 年度は岩熊力也/奥野宏/中條聡の 3 名が中心となり木曾ペインティングスから派生したアート・コレクティブ GR19 (galaxy route nineteen) として大桑村で展覧会・ファッションショー・ワークショップを開催し、引き続き地域住民とアーティストの交流・協働で地域を盛り上げていく。木曾ペインティングスとしてはギャラリーカフェ SOMA で「義家麻美個展」、「木村真由美個展」等複数の企画展を開催予定。また、藤屋（旧旅館）は令和 4 年 11 月に木祖村と共同使用が決定し、今後もレジデンススタジオとして多くのアーティストを受け入れ、空き家活用や移住促進に繋げていきたい。藤屋ギャラリーの稼働率を増やし、住民が楽しむ為の日常使いと並行しながら、村民が日常的にアートに触れる機会を増やしていきたい。

【選定のポイント】

地域の歴史・文化をアーティストの視点で形にし、地域住民を巻き込んでイベントを行い、郷土史への関心醸成が図れた。芸術祭で空き家を活用し、移住促進のみではなく、アトリエや倉庫に活用しながら都会と木曽の2拠点生活等の提案を行い、実際に売り物件であった空き家の売却が決まる等、空き家対策推進が図れた。今後も、多くの芸術家に空き家等を活用してもらうことで、空き家問題の解決や、更なる観光推進につながることを期待したい。

団体名 木曽ペインティングス実行委員会	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 岩熊 美幸 (050-3700-5277)	事業費	2,529,665円
メールアドレス kisopaintings@gmail.com	支援金額	2,021,000円